

臨床医学が学問か否か、という問いに議論があることは今も昔も変わらない。ただし、私見によれば、学問とは学問の方法論とルールに従って各自が生産的と思える仕事をなすことであり、その結果が世のため、人のために良かれとする動機は必要ではない。そのような動機があるとすれば、おそらくその人の仕事自体が偽善である。人を学問とか、研究に駆り立てるのは、あくまでも、知的な興味であるべきだ。本号の企画を練り始めたときから、そのような書生っぽいことを考えていた。

知的興味がないところには、進歩がない。これは、自明のことだ。しかし、優性遺伝の形をとる消化管ポリポーシスを病む患者および家族(血縁者と言うべきか)の内なる世界は、業である。業とは、進歩も展望もなく、癒えることのない哀し

みである。そして、医師として対応する側は、疾患を理解しえても、その哀しみを理解することは不可能である。

本号の内容は、消化管ポリポーシスの主要な部分についての知的興味は十分に満足させる力作によって埋められている。画像と絵を未知なるものとの遭遇のごとき興奮で眺めることは読者の自由である。だが、同時に、それらの背後には患者と家族の哀しみもまた見え隠れしていることを忘れないでもらいたい。そして、また、知的興味から得られたすべての経験を次の世代に語り継ぐ準備にとりかかってもらいたい。医師一代の知的興味の域を出ることができなければ、本号のような企画は、その倫理性を問われる瀬戸際に存在することは明らかである。

胃と腸

12月号(第28巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定 価 1,957円(税込)

主題／早期胃癌の内視鏡的根治切除—適応拡大の可能性と限界をさぐる

序 説	金沢大・がん研 磨 伊 正 義
主 題	切除材料からみた早期胃癌の内視鏡的切除の適応拡大の可能性
	大阪医大・2内 大柴 三郎・他
	内視鏡的粘膜切除術で不完全切除となった例に対する
	レーザー照射の効果と評価方法に対する検討
	北里大東病院・外 嶋尾 仁・他
	術後経過からみた早期胃癌内視鏡的根治切除の限界と対策
	—術後サーベイランスと再発の早期発見
	京府医大・3内 渥美 正英・他
	術後経過からみた早期胃癌内視鏡的根治切除の限界と対策
	—長期経過例からみた ER の問題点と対策
	山口大・1内 多田 正弘・他
	早期胃癌内視鏡的根治切除の適応拡大の将来像
	—私はこう考える
	高木 國夫・三隅 厚信・原田 一道
	井田 和徳・下田 忠和・吉田 茂昭
主 題 研 究	早期胃癌に対する新しい治療法—lesion lifting 法による
	腹腔鏡下胃局所切除術
	慶應大・外科 大上 正裕・他
主 題 症 例	リンパ節転移のある UI(一)・m 癌
	東京女子医大・消 鈴木 茂・他

胃 と 腸 (第28巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1993年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料26,240円(本体25,476円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1993, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当)渡邊・小松原・江口・長谷川